

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 5 号

平成30年 6月 7日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

二中健二よ、「竜」になれ 評価したい、敗れても堂々の戦いぶり

5月29日（火）、30日（水）の両日、中体連岩瀬支部総合体育大会が行われ、本校からは11種目に男女15チームが出場し、これまで鍛えてきた力を精一杯発揮しました。別枠で示したとおり、団体9、個人15（体操競技の種目別優勝者を除く）のタイトルを手に入れました。

5月24日（木）の壮行会で、私は二つの期待を述べ、選手を激励しました。一つは、支部・県中・県・・・と続くいずれかの大会を自分たちの「登竜門」と定め、どんな困難があっても必ず登り切って「竜」になるんだという強い決意で一戦一戦全力で戦ってきてほしいということ。もう一つは、負けてなお得るものが大きい最善の試合を重ねてほしいということです。

戦いを振り返って、一番印象に残っているのは、ソフトテニス競技の男子個人戦の決勝です。相手の鏡石中学校のペアは、全国ベスト16の強豪だそうです。ゲームはフルセットでジュースを重ねた末に本校ペアのボールがエンドラインを割り、誠に残念な敗戦となりました。しかし、ここぞという場面で決めにいった本校ペアと終始冷静にプレーを重ねた相手ペアの試合は実に見応えのあるものでした。終了後、肩を落としている会田・橋本ペアに、私は「もっとこういうゲーム運びをすればよかったでなく、県中大会までにもっと力を付けなければ、と考えよう。」と声をかけたのでした。



団体種目優勝	
ソフトボール	女子
ソフトテニス	男子
同	女子
バドミントン	女子
卓球	女子
柔道	男子
剣道	男子
同	女子
体操	男子



個人種目優勝

ソフトテニス

女子 鎌田美樹③・永沼さくら③

バドミントン

男子シングルス 佐藤 諒③

女子シングルス 上田彩乃③

女子ダブルス 角田陽真里③・野村 萌③

卓球

女子シングルス 五十嵐早弥香③

男子ダブルス 小室 翔③・佐藤紘裕③

女子ダブルス 荒井七泉③・中野目暖③

柔道

男子 50 kg級 加藤颯野②

同 60 kg級 佐藤優璃③

同 81 kg級 加藤陽岐②

同 90 kg級 須釜拓海②

同 90 kg超級 岩本優翔③

女子 52 kg級 五十嵐桃佳①

剣道 男子 飯塚幸太③

体操

個人総合 松川陽芽③

※種目別の1位は別掲（裏面）

また、野球部の対西袋中戦は、1回表に3点、2回表に1点を先取されたものの、3回以降は互角の堂々たる試合ぶりでした。相手好投手から放った

ヒット性の打球がしばしば守備の正面を突く不運に見舞われる場面もありましたが、どの選手のバットスイングも実に鋭くなっていました。また、2塁ランナーを牽制で刺したキックオフプレーは「お見事」の一語に尽きます。ピンチに動じない堅実な守備も光りました。

惜しくも上位大会を逃したチーム、選手にも最善を尽くしたことに拍手を送りたいと思います。



その他の成績

☆印は県中大会出場、○に数字は学年です。

◇団体◇

軟式野球 第3位

バスケットボール

男子 第3位

女子 第3位

バレーボール 女子 第3位

サッカー 第3位

バドミントン 男子 第2位☆

卓球 男子 第2位☆



◇個人◇

ソフトテニス

男子 第2位 会田楓輝③・橋本蒼弥③☆

同 第3位 吉田琉晟③・吉田 航②☆

同 第3位 山邊勇和③・岩本翔太③☆

女子 第2位 遠藤柚葉③・ミニャック杏菜③☆

バドミントン

男子ダブルス 第2位 藤田京平③・上妻浩聡②☆

女子ダブルス 第2位 八束愛海③・尾崎心愛③☆

卓球

男子シングルス 第3位 大内啓悟③☆

女子シングルス 第3位 鈴木ひなた③☆

同 第3位 佐藤 彩③☆

柔道

男子 60 kg級 第2位 関根大輔③☆

同 第3位 岡島直輝③☆

同 73 kg級 第2位 関口陽士③☆

剣道

男子 第2位 斑目穂高③☆

女子 第2位 須田日菜子③☆

同 第3位 菊地美衣③☆

同 第3位 黒津あさひ②☆

体操

総合 第2位

橋本祐亮③☆

第3位

内藤大地②☆

ゆか 第1位

松川陽芽③☆

同 第2位

内藤大地②☆

同 第3位

橋本祐亮③☆

あん馬 第1位

松川陽芽③☆

同 第2位 橋本祐亮③☆

同 第3位 内藤大地②☆

跳馬 第1位 橋本祐亮③☆

同 第2位 松川陽芽③☆

同 第3位 内藤大地②☆

鉄棒 第1位 松川陽芽③☆

同 第2位 渡邊日向②☆

同 第3位 橋本祐亮③☆



ひと味違うぞ！ 二中学生



朝の読書の時間に、校舎内を1周して生徒の様子を感じ取るように努めています。

先週、ある学級の後ろ側のドアのところから、女子生徒の楽しそうな表情が垣間見えました。彼女の表情に注目しながら通過しようとしたとき、彼女は本に目を落としたままニコッと微笑みました。どんな本を読んでいたのかなと思い、声をかけて書名(表紙)を見せてもらいました。それは、「夏の庭 The Friends」(湯本香樹実作)という本でした。

小学6年生の「ぼく」ら仲良し3人組は、近所で独り暮らしをしている老人が死ぬのを目撃しようと企みます。観察を始めると、やんちゃな少年たちも徐々に老人の孤独に共感を覚え、少年たちに邪険だった老人との間に「情」の交流が深まっていきます。そして、老人が死を迎えたとき…。『夏の庭 The Friends』は、本校の推薦図書の本1冊でもあります。

朝の読書の時間に、3年生だけは進路対策教材を用いた自主勉強を行っています。しかし、3年生の各教室には、読書にいきそんでいる生徒の姿も少なくありません。答え合わせや間違えたところの確認まで家庭で済ませてきているのでしょう。家庭で問題を解いて、翌日学校で答え合わせをするよりもはるかに効果的で、上手な時間の使い方だと思います。

「いつでも読みかけの本を」

若いときに書店で見かけた言葉で、それ以来ずっと胸の中にある言葉です。そんな読書生活を送れたらすてきですね。

この学校だよりは、本校 HP からご覧いただけます。